

みずほCustomer Desk Report 2023/09/01 号 (As of 2023/08/31)

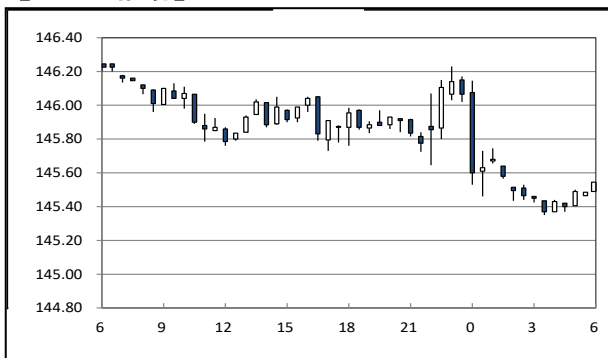
金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	146.22
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.09	1.0929	159.67	1.2711	0.6479
SYD-NY High	146.23	1.0939	159.70	1.2734	0.6508
SYD-NY Low	145.35	1.0836	157.65	1.2653	0.6461
NY 5:00 PM	145.55	1.0843	157.78	1.2672	0.6485
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,721.91	▲ 168.33	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	14,034.97	15.66	日本10年債	0.6400%	▲0.0100%
S&P	4,507.66	▲ 7.21	米国2年債	4.8619%	▲0.0189%
日経平均	32,619.34	285.88	米国5年債	4.2480%	▲0.0176%
TOPIX	2,332.00	18.62	米国10年債	4.1052%	▲0.0058%
シカゴ日経先物	32,500.00	105.00	独10年債	2.4700%	▲0.0640%
ロンドンFT	7,439.13	▲ 34.54	英10年債	4.3555%	▲0.0670%
DAX	15,947.08	55.15	豪10年債	4.0380%	▲0.0460%
ハンセン指数	18,382.06	▲ 100.80	USDJPY 1M Vol	9.22%	0.05%
上海総合	3,119.88	▲ 17.26	USDJPY 3M Vol	9.19%	0.15%
NY金	1,965.90	▲ 7.10	USDJPY 6M Vol	9.11%	0.08%
WTI	83.63	2.00	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	281.91	0.76	EURJPY 3M Vol	9.33%	0.25%
ドルインデックス	103.62	0.46	EURJPY 6M Vol	9.44%	0.12%

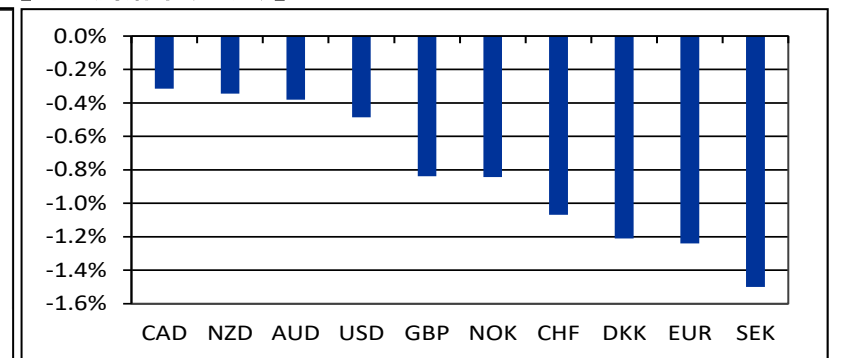
東京	146.09レベルで東京時間オープン。序盤は月末のドル買いによって小確りと推移したが、仲値通過後に失速。中国PMIの結果を受けたドル売り元買いが波及したことも相俟ってドル円は軟調に推移すると145.76まで下落。午後は日本株の堅調な推移を横目に反転すると、146円近辺まで値を戻し145.99レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.99レベルでオープン。本日も米指標を控え動意薄の展開。145.82レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0914レベルでオープン。8月ユーロ圏CPIが減速すると1.0858に低下。結局1.0869レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台前半でスタート。中国8月製造業PMIが節目の50を下回り、中国株安が嫌気され、145.76まで下落する。その後は注目の米8月非農業部門雇用者数変化指数の発表を明日に控え、様子見姿勢が広がり、145.90付近を挟んだ推移が続き、145.82レベルでNYオープン。朝方に発表された米7月個人支出(前月比)の予想を上回った内容や、米8月新規失業保険申請件数予想より良好な結果を受け、146.10まで買われる。続いて発表された米8月MNIシカゴPMIも予想を上回った結果も一段サポートとなり、146.23まで上昇する。その後はロンドンフィクシングに掛けて円買いが強まり、145.46まで反落する。午後は特段材料が見当たらなかったが、円買いの流れが続き、145.35まで下げ幅を拡大する。その後小幅反発し、145.55レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。シュナールECB専務理事が「ユーロ圏の成長見通しは6月の予測より弱い」との発言を受け、ユーロ圏経済の先行きを懸念した売りが先行し、1.0870近辺まで値を下げる。その後発表された注目のユーロ圏8月CPI(前月比)は予想を上回るも、買い材料とはならず、その後1.0869レベルでNYオープン。朝方は1.0885まで小幅反発する場面も見られたが、その後独金利が低水準で推移する展開に上値を抑えられ、再びユーロ売りが優勢となり、1.0836まで反落する。午後は小幅反発し、1.0850付近で揉み合いとなり、1.0843レベルでクロス。

【昨日の指標等】						結果	予想
Date	Time	Event					
8月31日	08:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月	-2%/-2.5%	-1.4%/-1.4%	
	10:30	中	製造業PMI	8月	49.7	49.2	
	10:30	中	非製造業PMI	8月	51.0	51.2	
	18:00	欧	CPI速報値(前月比/前年比)	8月	0.6%/5.3%	0.4%/5.1%	
	18:00	欧	失業率	7月	6.4%	6.4%	
	21:30	米	新規失業保険申請件数	26-Aug	228k	235k	
	21:30	米	個人所得	7月	0.2%	0.3%	
	21:30	米	個人支出	7月	0.8%	0.7%	
	21:30	米	PCEデフレーター(前月比/前年比)	7月	0.2%/3.3%	0.2%/3.3%	
	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	7月	0.2%/4.2%	0.2%/4.2%	
【本日の予定】						予想	前回
Date	Time	Event					
9月1日	17:00	欧	製造業PMI・確報	8月	43.7	43.7	
	17:30	英	製造業PMI・確報	8月	42.5	42.5	
	19:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁 討論会	-	-	-	
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	8月	170k	187k	
	21:30	米	失業率	8月	3.5%	3.5%	
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	8月	0.3%/4.3%	0.4%/4.4%	
	21:45	米	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	-	
	22:45	米	製造業PMI・確報	8月	47.0	47.0	
	23:00	米	建設支出(前月比)	7月	0.5%	0.5%	
	23:00	米	ISM製造業景況指数	8月	47.0	46.4	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.00-146.00	1.0800-1.0900	157.20-158.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、米7月個人消費支出(PCE)の結果を受けて小幅に上昇した後、145円台前半まで下げる展開となった。米7月PCEは、前年比+3.3%、コアは+4.2%と市場予想通りとなったものの、伸びは前月から加速した為、ドル/円は一時146.23円まで上昇した。一方でインフレ率は落ち着いてきたことが確認されたことからドル/円は失速、月末要因の円買いの動きもあり、145.35円まで下押しする値動きとなっている。本日のドル/円は上値重い展開を予想。足元の米経済指標を受けてインフレの減速は鮮明となっていることから、FRBによる年内利上げ観測は後退している。また昨日は、タカ派で知られるECBのシュナール専務理事が、ユーロ圏の成長が想定よりも弱い、等と指摘、ECBの利上げ観測も後退しており、ユーロ/円が急落していることもドル/円の重しとなっている。本日は米国時間に米8月雇用統計の発表を控えている為、様子見ムードが強まりやすい中、上値の重さが感じられる相場となりそう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・逸見